



国立大学法人 高知大学

取組年数
13年

地域と学生による棚田をつなぐ協働

関係棚田情報

八畝の棚田の他4カ所

| 所在地

大豊町

| 認定

- ・ 指定棚田地域
大豊町東豊永村
- ・ つなぐ棚田遺産
—
- ・ 日本の棚田百選
—

※段々畑2カ所を含む



岩原地区において花火とともに棚田にキャンドルを並べて彩る



稲刈りの実習中：台風で倒れた稲を刈り取り、稲作の苦労を知る。



棚田に舞台を設置し劇を上演。高知大学の教員と学生団体が主催。



遊休化された棚田あとにシャクヤクを植えて景観維持

※写真は高知大学、学生団体提供



きっかけ

14年ほど前に高知大学職員が退職後、Uターンし、地域での活動のために大学に声をかけたことをきっかけに、大学と地域との交流が始まった。



取組内容

遊休化した棚田の有効活用(他作物(ソバ等)への転換、シャクヤクによる景観づくり、キビ栽培と焼酎作りなどを行う。また、学生が棚田や遊休化した棚田で栽培した農産物を街路市(高知市日曜市)で販売している。



推薦理由

県内にある3大学は、いずれも棚田地域において様々な形(授業の一環、学生ボランティア等)で地域活性化に関する活動を実施しているが、高知大学での取り組みは、複数の学部による継続的な活動がなされているため推薦。